

施設開放講座

「天体観測と星空こども食堂～みんなで楽しく星を学ぼう～」

普段体験することのできない50cm大望遠鏡での天体観測や、塩尻星の会のみなさんからの星空解説、こども食堂のみなさんの紙芝居など、楽しみながら星空について学習しました。天候が良い場合は、秋の星座や土星のリング(環)等を観測する予定でしたが、当日は残念ながら悪天候のため、天体観測はできず、屋内で観測施設の見学や天体クイズなどを行い、星に関する知識を深めました。モルックやポッチャの体験ブースや様々な石の展示もあり、星空を見ることができませんでしたが、会場内は笑顔で溢れていました。(受講者数 69名)

〈研修内容〉

○子ども食堂開店

講師 NPOホットライン信州の皆様

- ・軽食(防災食)の提供
- ・子ども食堂の活動紹介
- ・星や防災に関する紙芝居



○この日の星空の解説・天文クイズ

講師 総合教育センター専門主事 山本 淳一
塩尻星の会の皆様

- ・直径50cmの望遠鏡について
- ・皆既月食について
- ・近くで天体観測ができるところ
- ・ふたご座流星群
- ・スワン彗星とレモン彗星
- ・天文クイズ
(月の形、月や星の動き、星座、惑星、月や太陽までの距離等)



○天体観測

- ・屋上で天体観測(解説:塩尻星の会の皆様)→悪天候により中止
- ・天体観測室の直径50cmの望遠鏡による天体観測
(解説:総合教育センター 山本 淳一)→悪天候により天体観測室の見学のみ実施



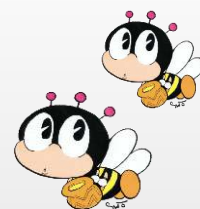
○様々な石の観察(物理・地学実験室に展示の石)

○モルック・ポッチャの体験(体験支援:モルックサークル 信州まつぼっくりの皆様)

受講者アンケートから

【星空こども食堂について】

- こども食堂で防災についても教えているのは知らなかった。(公民館職員・公民館関係者)
- 非常食のレパートリーが多くて驚いた。(学校教職員)
- 災害食についての理解が深まった。身近にこども食堂があることを知った。(学校教職員)
- いざ、何か起こった時にどう行動をとるべきかのクイズはためになった。(一般)



【天体観測・星空解説について】

- クイズでカラス座とかいろいろな知らない星の名前を知れてよかった。楽しく勉強になったので、また来たい。(子ども)
- 望遠鏡の部屋の屋根が回ったのがびっくりした。(子ども)
- 以前よりも、星に興味を持ったので、夜空を眺めたり、皆既月食を見たりしたい。(子ども)
- 天候が悪く星が見られなかったことは残念だったが、普段見れない望遠鏡を見られて良かった。(公民館職員・公民館関係者)
- とても興味深いお話であった。星について勉強したくなった。(学校教職員)

【モルック・ポッチャ等の体験や石の展示について】

- 大人も子どももとても楽しんだ。くわしく解説していただきモルックを購入したくなった。(一般)
- ガーネットを発掘する体験も楽しかった。石も様々なものが展示されていて、見ていてとてもわくわくした。(子ども)